

| 授業科目 | 科目概要・形式 | 配当年次 | オンライン参加 |
|--|--|-----------------|--------------------------------|
| がん看護学実習Ⅱ | 2単位 90時間 実習科目 | 博士前期2年次 前期開講 | 可・ <input type="checkbox"/> 不可 |
| 科目責任者 | 鳴井 ひろみ | | |
| 担当者 | 鳴井 ひろみ、田中 優子 (非常勤)、小林 直子 (非常勤)、市川 智里 (非常勤)、東樹 京子 (非常勤)、平野 勇太 (非常勤)、栗山 尚子 (非常勤)、千葉 育子 (非常勤)、岩爪 美穂 (非常勤)、小田 夏美 (非常勤)、本間ともみ | | |
| 1. 科目のねらい・目標 | | | |
| がん看護専門看護師の役割 (実践・相談・調整・倫理的調整・教育・研究) およびがん医療における地域連携の実際を体験し、がん看護専門看護師の役割機能について考察し、自らのがん看護専門看護師としての活動のあり方を探求する。 | | | |
| 2. 授業計画・内容 | | | |
| <実習内容> | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1) がん看護専門看護師とともに行動し、複雑な問題を抱えるがん患者・家族に対する看護実践 (高度な看護実践、倫理的調整、看護スタッフからの相談、ケアの調整) を見学・体験する。 2) がん患者・家族へのケアに関して、がん看護専門看護師が多職種と行うケア調整を体験する。 3) 退院調整を含む地域医療連携の活動に参加し、地域連携においてがん看護専門看護師が行う多職種とのチーム医療における調整と連携を学ぶ。 4) がん看護専門看護師が行う看護スタッフに対する教育内容及び教育方法の実践に参加する。 5) がん看護専門看護師が行うスタッフ看護師および多職種からの相談への対応について学ぶ。 6) がん看護専門看護師の活動を通じ、がん患者・家族の倫理的問題や葛藤の解決方法を学ぶ。 7) がん看護専門看護師が行う研究活動について説明を受け、看護スタッフに対する研究指導に参加する。 8) がん看護専門看護師としての役割を發揮するために求められている自己の課題及び専門看護師としての活動のあり方を考察しレポートとしてまとめる。 | | | |
| <実習場所> | | | |
| 国立がん研究センター東病院 | | | |
| <実習指導体制> | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員は実習指導者 (がん看護専門看護師) と連携して、実習記録およびカンファレンス内容を指導する。 2) 教員は、施設の実習調整担当者、実習病棟看護責任者、がん看護専門看護師と協働し、学生の教育環境を調整する。 3) 実習指導者 (がん看護専門看護師) は、がん看護専門看護師の役割 (実践・相談・調整・倫理的調整・教育・研究) を視野に入れながら、学生が複雑な問題をもつがん患者・家族に対する看護実践を提供する場面を見学・体験できるように学びの機会を提供する。 4) 実習指導者 (がん看護専門看護師) は、学生を地域医療連携の活動場面に参画させ、多職種と意見交換を行う機会を調整する。 | | | |
| 3. 教科書、参考書 | | | |
| 指定しない。実習状況によって随時、提示する。学内での既習事項を各自で効果的に活用すること。 | | | |
| 4. 成績評価方法 | | | |
| 実習目標の達成度 (65%)、実習への取り組み状況 (5%)、がん看護専門看護師の役割と自己の課題に関するレポート (30%) を総合して評価する。 | | | |
| 5. 受講要件 | | | |
| がん看護専門看護師コースの学生は必修 | | | |

6. 社会人学生に対する配慮

相談があれば個別に対応する。

7. その他

- ・がん看護学実習 I での課題を踏まえ、実習目標に基づき、がん看護専門看護師の役割について事前学習を行い臨むこと。
- ・状況に応じて Webex meeting または Zoom を用いた遠隔カンファレンスを実施する。